別記様式第３号の６（第１０条の２関係）

省エネ基準工事監理状況報告書（モデル建物法（小規模版））

|  |  |
| --- | --- |
| 東広島市長  （建築主事）  （建築副主事） | 様 |
| 指定確認検査機関 |

工事監理者　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）建築士　　　（　　）登録　　第　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）建築士事務所（　　）知事登録第　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号（　　　）　　　－

次のとおり、工事監理の状況を報告します。

なお、この報告書の記載事項は、事実に相違ありません。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 報　　　　告　　　　内　　　　容 | | | |
| 報　　告　　事　　項 | 照合を行った設計図書 | 確認の方法 | 確認の結　果 |
| １  外皮 | ア　断熱材の種類・仕様、厚さ及び施工範囲 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| イ　開口部の仕様（建具種類及び枠・ガラスの仕様等）、形状及び設置位置 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ２  空気調和設備 | ア　熱源機器の仕様、設置状況（設置位置・台数及び空調の範囲等)及び風量等制御内容 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| イ　全熱交換器の仕様及び設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ウ　全熱交換器のバイパス制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| エ　予熱時外気取入停止制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ３  換気設備 | ア　換気設備の仕様、設置状況（設置位置・台数、ダクト径・長さ及び給排気口の位置・径等） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| イ　送風量制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ４  照明設備 | ア　照明器具の消費電力、台数及び取付状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| イ　各種制御の設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ５  給湯設備 | ア　熱源機器の仕様及び設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| イ　給湯配管の保温の仕様及び設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ウ　節湯器具の仕様及び設置状況 |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |
| ６  太陽光発電設備 | 太陽光発電の仕様及びパネル設置状況（設置位置・範囲） |  | Ａ・Ｂ・Ｃ |  |

注　１　この様式は、モデル建物法（小規模版）（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第１条第１項第１号ロに規定する基準を用いて評価する方法をいう。）により建築物エネルギー消費性能基準に適合することを確認した建築物に係る工事監理の状況の報告に用いてください。

２　評価の対象となる外皮、設備等がない場合は、これらに係る項目については、記載は不要です。

３　「照合を行った設計図書」の欄は、建築基準法施行規則第１条の３に掲げる図書及び書類のうち、工事監理において照合に用いたものを記載してください。

４　「確認の方法」の欄は、次に掲げる記号のうち該当するものを○で囲んでください。なお、Ｃに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載することとし、その書類は、検査の際に確認する場合があるため、現場に備え置いてください。

Ａ　目視又は試験による立会確認

Ｂ　計測等による立会確認

Ｃ　自主検査記録、施工記録、測定記録、納入仕様書、材料搬入報告書、工事写真、規格証明書、施工図、試験成績書等による確認

５　「確認の結果」の欄は、「適」又は「不適」のいずれかを記載することとし、「不適」を記載する場合には、建築主に対して行った報告の内容も併せて記載してください。なお、工事施工者が注意に従わなかった場合は、「不適」を記載してください。

６　不用の文字は、消してください。